

製品名: B3GALT4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81341**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	41.5kDa

抗原情報

遺伝子名	B3GALT4
別名	GALT2; GALT4; BETA3GALT4
遺伝子 ID	8705.0
SwissProt ID	O96024
免疫原	大腸菌で発現したヒト B3GALT4 (AA: 191-359) の精製された組み換え断片。

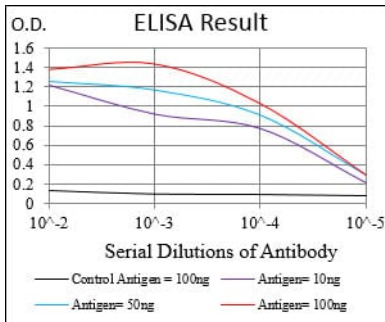
背景

この遺伝子は、 β -1,3-ガラクトシルトランスフェラーゼ (β GalT) 遺伝子ファミリーのメンバーです。このファミリーは、異なるドナー基質 (UDP-ガラクトースおよび UDP-N-アセチルグルコサミン) と異なるアクセプター糖 (N-アセチルグルコサミン、ガラク

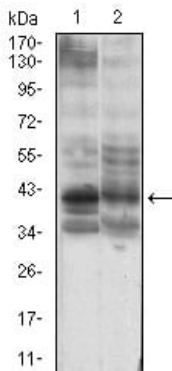
トース、N-アセチルガラクトサミン) を用いて多様な酵素機能を発揮する II 型膜結合型糖タンパク質をコードしています。β3GalT 遺伝子はショウジョウバエの Brainiac 遺伝子と遠縁であり、タンパク質コード配列は単一のエクソンに含まれています。β3GalT タンパク質には、β4GalT タンパク質や α3GalT タンパク質には見られない保存配列も含まれています。これらの酵素によって合成される糖鎖はタイプ 1 型と呼ばれ、β4GalT 酵素はタイプ 2 型の糖鎖を合成します。タイプ 1 型とタイプ 2 型の糖鎖の比率は、胚発生中に変化します。配列類似性により、beta3GalT 遺伝子は少なくとも 2 つのグループに分類されます。beta3GalT4 と他の 4 つの beta3GalT 遺伝子 (beta3GalT1-3、beta3GalT5) です。この遺伝子は、リボソームタンパク質 S18 遺伝子に近接し、テロメアからセントロメアに配向しています。コードされているタンパク質の機能は、ガングリオシド系糖脂質合成に限定されています。

研究分野

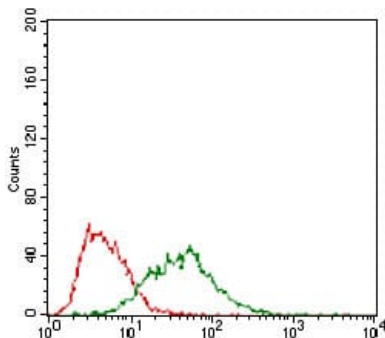
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng); 紫線: 抗原 (10 ng); 青線: 抗原 (50 ng); 赤線: 抗原 (100 ng);



PANC-1 (1)、PC-3 (2) 細胞溶解物に対する B3GALT4 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



B3GALT4 マウス mAb (緑) とネガティブコントロール (赤) を使用した PANC-1 細胞のフローサイトメトリー分析。